

鳥獣被害を大幅低減

多面的機能支払交付金の活用

※多面的機能支払交付金とは

農業・農村の有する多面的機能（防災・景観保全・生物保全・文化継承など）の維持・発揮を図るための地域の共同活動を、行政（国・県・市）が支援する制度。

べにばな さとかい 紅花の里会

組織の概要

『紅花の里会』は、平成 25 年度から多面的機能支払交付金（当時は農地・水保全管理支払交付金）を活用している組織であり、スタジオジブリ映画「おもひでぼろぼろ」の舞台となった、山形市高瀬地区で活動している。はじめは高瀬地区内の「切畑集落」の約 16 ha で「切畑農地水保全管理活動組織」を立上げ、活動を開始した。平成 29 年度からは、切畑集落の活動内容に共感した、「三本堂集落」「宝田集落」「中里集落」の 3 地区が新たに加わり、農地面積約 57 ha の『紅花の里会』となっている。また、令和 6 年度には更に「休石集落」も加わり、農地面積約 58 ha へと拡大した。

鳥獣害対策への活用

高瀬地区は、鳥獣による農作物の被害が深刻で、鳥獣防護柵の設置に市内でもいち早く取り組み始めた。設置を早急に進める必要があるなど地域のニーズに応じて、国の鳥獣被害防止総合対策交付金と、多面的機能支払交付金の両交付金を使い分けている。活用方法は次のとおり。

- ① 「鳥獣被害防止総合対策交付金」により資材を購入。「多面的機能支払交付金」で設置作業の参加者に日当等を支払う。
- ② 「多面的機能支払交付金」のみで、資材購入及び日当等を支払う。防護柵設置後の柵周辺における草刈り等の維持管理は、多面的機能支払交付金により実施している。

設置状況位置図



設置状況

- : 防護柵(①交付金併用)
- : 防護柵(②多面のみ活用)

紅花の里会

- : 切畑集落
- : 二本堂集落
- : 宝田集落
- : 中里集落
- : 休石集落

高瀬地区ほぼ全周 **約 23.6km** に防護柵を設置
 設置前と比較し鳥獣被害を **90%** 抑制！

組織運営に注目

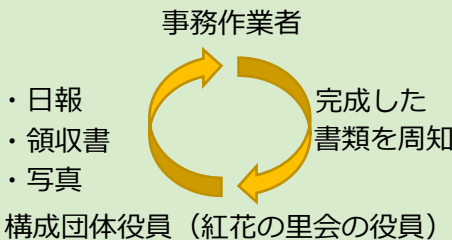
紅花の里会会長の鐘水 豊さんに聞いてみた。
やりみず ゆたか

紅花の里会では、町内会や各団体からなる構成団体ごとに共同活動を実施しています。組織の役員も各構成団体役員が担うこととしており、共同活動の人員や、役員の担い手確保に苦慮することはありません。また、参加する集落が増えたことにより、活動資金、人員とも増加し、活動の幅が広がったと感じています。

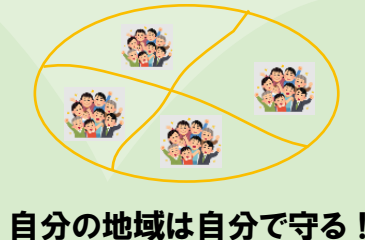
事務作業についても、構成団体ごとにとりまとめ、会長に報告することとしています。とりまとめ書類は、紅花の里会の役員（各構成団体の役員）に周知しており、組織全体が事務の内容を把握するように努めています。活動を重ねる度、制度の理解が深まり、必要書類を正確に報告してくれるようになりました。その結果、事務の効率化が図られています。

多面的機能支払交付金は、地域の農地維持や環境保全に必要な不可欠なものとなっております。新たな5年間も活動に取り組むことを全会一致で決め、活動を継続しています。今後も、本交付金を活用し、地域の農地・環境の保全、活性化を図っていきたくと考えています。

事務作業の流れ



構成団体単位で共同活動



紅花の里会会長
鐘水 豊さん